

平成 25 年 3 月 25 日		於：岐阜経済記者クラブ	
所 属	担 当 者	電 話 番 号	
経営支援部 調査研究担当	高木 誠	0 5 8 - 2 7 7 - 1 0 8 5	

「岐阜県の景況調査 (2013 年 第 1 四半期)」

概況：景況感は3期振りに大幅上昇、さらに先行きの見通しも明るいものの、やや期待先行の側面もある。

今回の調査結果の概要

1 調査結果の概要

景況DIは、製造業で28.2ポイント、非製造業で28.0ポイント上昇し、3期振りに大幅な上昇となった。

製造業、非製造業とも全業種で上昇、特に「飲食店」、「木材・家具」が50ポイント以上の大幅な上昇、伸び率の一番低かった「機械」でも18.7ポイントの上昇となった。

来期の景況DIは、さらに全体で10.0ポイントの上昇を予想している。これらは、円高是正などによる一部輸出企業の業績回復や株価の上昇など、経済対策への期待感に依るところが大きいものと考えられる。

ただし、多くの業種で仕入れ価格が上昇し採算が悪化、売上や生産の上昇に結びついていないなど、必ずしも実体経済が伴っていないことから、この急速な上昇には、やや期待先行の側面もある。

生産活動に関わるDIでは、製造業では売上高DIがやや低下するものの、輸出は上昇、生産、受注DIは、ほぼ横ばいで推移している。非製造業では売上、受注DIで上昇するが、生産DIは低下した。来期の見通しについては、製造業の輸出を除いて、売上、生産、受注の全てのDIで上昇を予想している。

販売活動に関わるDIでは、販売価格DIが製造業ではやや低下するものの、非製造業では上昇した。仕入れ価格DIは製造業、非製造業とも大幅に上昇した。採算DIは製造業、非製造業とも低下した。来期の見通しは、仕入れ価格DIが製造業でさらなる上昇を予想するが、販売価格DI、採算DIとも上昇を予想している。

資金繰りDIは、製造業、非製造業とも悪化、借入れ難易感DIは非製造業では改善した。来期の見通しについては、資金繰りDIは製造業、非製造業とも改善するものの、借入れ難易感DIは、製造業、非製造業とも悪化し、全体では悪化を予想している。

設備投資実施状況は全体で22.6%となり、実施率が1.3ポイント低下したが、目的は「生産能力拡大」の割合が増加するなど、前向きな設備投資の割合が増加した。設備投資意欲DIは、製造業、非製造業とも大幅に上昇した。来期の見通しは、設備投資実施予定が全体で24.8%となり、実施率も2.2ポイントの上昇、設備投資意欲DIは、製造業、非製造業とも上昇、全体で4.9ポイントの上昇を予想している。

雇用DIは、製造業が「過剰感」の低下、非製造業が「不足感」の上昇となったが、全体では「不足感」が上昇した。来期の見通しは、製造業はさらなる「過剰感」の低下を、非製造業では「不足感」の上昇を予想し、全体では「不足感」の上昇を予想している。

D I 別の状況

景況D Iは、全体で 28.1 ポイントの大幅上昇となった。製造業は 28.2 ポイント、非製造業も 28.0 ポイント上昇した。製造業、非製造業とも、全業種で大幅な上昇となった。「木材・家具」(52.0 ポイント上昇)「金属製品」(42.9 ポイント上昇)「化学・プラスチック」(38.2 ポイント上昇)「窯業土石」(34.7 ポイント上昇)などが大幅に上昇した。非製造業では「飲食店」(53.4 ポイント上昇)「サービス(余暇関連)」(34.7 ポイント上昇)「建設」(31.9 ポイント上昇)などが大幅に上昇した。来期についても、製造業(13.2 ポイント上昇) 非製造業(8.6 ポイント上昇)とも上昇、全体では 10.0 ポイント上昇の見通しとなる。

売上高D Iは、全体で 1.7 ポイント上昇した。製造業は 0.3 ポイント低下となったが、非製造業では 2.4 ポイント上昇した。製造業では「金属製品」(38.1 ポイント上昇)「化学・プラスチック」(16.0 ポイント上昇)は大幅に上昇したが、「紙・パルプ・印刷」(36.9 ポイント低下)「木材・家具」(22.0 ポイント低下)「窯業土石」(16.1 ポイント低下)が大幅に低下した。非製造業では「小売」(25.1 ポイント上昇)「サービス(企業関連)」(11.2 ポイント上昇)が上昇したが、「卸売」(21.4 ポイント低下)「飲食店」(13.4 ポイント低下)が低下した。来期は製造業(3.6 ポイント上昇) 非製造業(1.8 ポイント上昇)とも上昇し、全体では 2.4 ポイント上昇の見通しとなる。

輸出向け売上高D Iは、全体で 15.6 ポイント上昇した。業種別では「化学・プラスチック」(31.3 ポイント上昇)「金属製品」(29.8 ポイント上昇)が大幅に上昇するが、「窯業土石」(20.0 ポイント低下)が大幅に低下した。来期は「紙・パルプ・印刷」(40.0 ポイント低下)「金属製品」(15.4 ポイント)などが大幅に低下する見通しであり、全体では 9.5 ポイント低下の見通しとなる。

生産量D Iは、全体で 1.5 ポイント低下した。製造業で 0.1 ポイント上昇したが、非製造業では 6.0 ポイント低下した。製造業では「紙・パルプ・印刷」(60.7 ポイント低下)「食品」(25.4 ポイント低下)が大幅に低下したが、「金属製品」(28.5 ポイント上昇)「化学・プラスチック」(22.2 ポイント上昇)が大幅に上昇した。来期は全体で 8.1 ポイント上昇の見通しとなる。

受注量D Iは、全体で 1.2 ポイント上昇した。製造業は 0.0 ポイントと横ばい、非製造業では 1.7 ポイント上昇した。製造業では「金属製品」(41.9 ポイント上昇)「化学・プラスチック」(27.8 ポイント上昇)が大幅に上昇したが、「紙・パルプ・印刷」(36.9 ポイント低下)「窯業土石」(35.9 ポイント低下)などが大幅に低下した。非製造業では「運輸・通信」(14.1 ポイント上昇)が上昇したが、「サービス(余暇関連)」(15.9 ポイント低下)などは低下した。来期は全体で 5.9 ポイント上昇の見通しとなる。

在庫量D Iは、全体で 5.4 ポイント上昇した。製造業は 6.8 ポイント、非製造業でも 4.1 ポイント上昇となった。製造業では「金属製品」(16.0 ポイント上昇)「窯業土石」(15.8 ポイント上昇)「繊維・衣服」(15.4 ポイント上昇)「木材・家具」(13.0 ポイント上昇)が上昇、「紙・パルプ・印刷」(16.7 ポイント低下)は低下した。来期は製造業が 6.9 ポイント低下するが、非製造業では 6.3 ポイント上昇し、全体では 0.2 ポイント上昇の見通しとなる。

製品販売価格D Iは、全体で 8.9 ポイント上昇した。製造業は 1.1 ポイント低下したが、非製造業は 13.3 ポイント上昇した。製造業では「金属製品」(28.9 ポイント上昇)「化学・プラスチック」(27.4 ポイント上昇)などが大幅に上昇したが、「繊維・衣服」(29.7 ポイント低下)「窯業土石」(21.7 ポイント低下)「食品」(21.6 ポイント低下)が大幅に低下した。非製造業では「建設」(24.3 ポイント上昇)「卸売」(15.4 ポイント上昇)「小売」(14.9 ポイント上昇)が大幅に上昇したが、「飲食店」(28.3 ポイント低下)が大幅に低下した。来期は、全体で 3.1 ポイント上昇の見通しとなる。

原材料仕入価格D Iは、全体で 20.1 ポイント上昇した。製造業で 18.6 ポイント、非製造業では

20.9ポイント上昇した。製造業では「金属製品」(47.6ポイント上昇)、「化学・プラスチック」(30.1ポイント上昇)、「機械」(25.5ポイント上昇)、「紙・パルプ・印刷」(25.0ポイント上昇)などが大幅に上昇した。非製造業では「卸売」(33.9ポイント上昇)、「建設」(32.7ポイント上昇)、「小売」(30.2ポイント上昇)、「サービス(余暇関連)」(23.8ポイント上昇)が大幅に上昇した。来期は、製造業が16.3ポイント上昇、非製造業では3.0ポイント低下、全体で3.0ポイント上昇の見通しとなる。

採算DIは、全体で4.1ポイント低下した。製造業で5.8ポイント、非製造業では3.1ポイント低下した。製造業では「繊維・衣服」(9.9ポイント上昇)、「金属製品」(9.6ポイント上昇)は上昇したが、「紙・パルプ・印刷」(27.4ポイント低下)、「食品」(18.8ポイント低下)、「窯業土石」(18.8ポイント低下)などは大幅に低下した。非製造業では「サービス(企業関連)」(7.2ポイント上昇)、「建設」(4.0ポイント上昇)は上昇したが、「飲食店」(17.9ポイント低下)、「小売」(16.9ポイント低下)が大幅に低下した。来期は、製造業が5.1ポイント、非製造業は5.0ポイント上昇となり、全体で5.1ポイント上昇の見通しとなる。

資金繰りDIは、全体で1.8ポイント悪化した。製造業では5.4ポイント、非製造業では0.1ポイントの悪化となった。製造業では「金属製品」(19.0ポイント改善)、「繊維・衣服」(17.0ポイント改善)の改善となったが、「紙・パルプ・印刷」(27.4ポイント悪化)、「食品」(25.7ポイント悪化)、「窯業土石」(17.5ポイント悪化)などは大幅に悪化した。非製造業では「サービス(余暇関連)」(3.9ポイント改善)、「サービス(企業関連)」(2.4ポイント改善)などは改善したが、「飲食店」(6.7ポイント悪化)、「卸売」(5.8ポイント悪化)などは悪化した。来期は、製造業が1.8ポイント、非製造業は2.9ポイント改善し、全体では2.5ポイント改善の見通しとなる。

借入れ難易感DIは、全体で0.8ポイント改善した。製造業で5.0ポイント悪化した。非製造業では3.3ポイント改善した。製造業では「繊維・衣服」(17.0ポイント改善)が改善したが、「食品」(17.6ポイント悪化)、「紙・パルプ・印刷」(15.4ポイント悪化)などは大幅に悪化した。非製造業では、「サービス(企業関連)」(9.5ポイント改善)、「建設」(7.9ポイント改善)、「運輸・通信」(5.5ポイント改善)は改善したが、「飲食店」(5.0ポイント悪化)、「小売」(1.9ポイント悪化)、「卸売」(1.8ポイント悪化)などは悪化した。来期は、製造業が1.3ポイント、非製造業は5.1ポイント悪化となり、全体では4.0ポイント悪化の見通しとなる。

設備投資実施(%)は、全体で1.3%低下した。製造業では4.4%低下したが、非製造業では0.7%上昇した。製造業では「窯業土石」(8.4%上昇)、「化学・プラスチック」(2.0%上昇)が上昇したが、「木材・家具」(11.6%低下)、「紙・パルプ・印刷」(10.7%低下)、「金属製品」(9.5%低下)などが低下した。非製造業では、「建設」(4.2%上昇)、「サービス(企業関連)」(3.3%上昇)、「飲食店」(3.3%上昇)は上昇したが、「卸売」(4.4%低下)などは低下した。来期は、製造業が1.9%、非製造業では2.2%の上昇となり、全体では2.2%の上昇の見通しとなる。

設備投資意欲DIは、全体で19.7ポイント上昇した。製造業では14.9ポイント、非製造業で21.9ポイント上昇した。製造業では「化学・プラスチック」(38.8ポイント上昇)、「金属製品」(25.9ポイント上昇)、「木材・家具」(23.4ポイント上昇)、「窯業土石」(22.3ポイント上昇)などが大幅に上昇したが、「紙・パルプ・印刷」(7.8ポイント低下)、「食品」(3.4ポイント低下)は低下した。非製造業では全業種で上昇した。特に、「飲食店」(50.0ポイント上昇)、「建設」(38.3ポイント上昇)、「サービス(企業関連)」(25.2ポイント上昇)などは大幅に上昇した。来期は、全体で4.9ポイントと上昇の見通しとなる。

雇用DIは、全体では4.2ポイント低下し「不足感」が上昇した。製造業は3.9ポイント低下し「過剰感」が低下した。非製造業は3.6ポイント低下し「不足感」が上昇した。来期は、製造業が0.6ポイント低下しさらなる「過剰感」の低下を、非製造業では0.8ポイント低下し「不足感」が上昇、全体では0.8ポイント「不足感」が上昇する見通しとなる。